

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年12月27日

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	甲賀市	代表者名	岩永 裕貴
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	0748-70-6032
担当者役職	主査	担当者氏名	加賀 愛
		連絡先E-mail	
住所	528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	地域住民がいかに負担を感じずに地域を運営できるかについての確にアドバイスをくださり、研修会の具体的内容（LINEアプリの便利な活用方法など）を確認しあうことができた。また、地域内でのIT人材の発掘・育成について協議することができ、次年度の重点的取り組みとして制度設計に向けて協議を深めることができた。
アドバイザーへの要望事項	一年間大変お世話になりました。もし可能であれば、次年度もアドバイザーとしてご依頼させていただきたいです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年9月16日	フォローアップ(実地)	有	令和4年9月7日	388
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年12月21日	支援・助言（実地）	9時00分	12時30分	
				活動時間（分）	210
3-2. 派遣場所	会場名	甲賀市役所	最寄駅	近江鉄道 水口城南	
	所在地	滋賀県甲賀市水口町水口6053番地	最寄駅からの交通手段	徒歩10分	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	総合政策部市民活動推進課	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	行政が発信する情報については、ほぼ全てが紙媒体となっており、印刷や回覧・配布にかかる地域への運営は多大なものとなっている。更に、行政が区・自治会を通じて配布する情報は自治会加入者のみへの配布となっており、広く情報が行き渡っているとは言い難い状況である。紙での配布に大きな負担がかかっているものの、デジタル機器導入に対する心理的なハードルが高いことから、デジタル化への移行に対する声は消極的な地域も多い。このような現状の中で、ICTがどのようなメリットを地域にもたらす、地域運営の負担軽減へと結びつけることができるかについて理解を深めてもらう。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	ICTを活用した区・自治会を運営するにあたり、ICT活用に対する苦手意識を低くし、さらに住民の中でICTを活用できるデジタル人材を増やしたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	第2回のアドバイザー派遣事業で、ITを導入した地域運営には人材育成が重要であると助言を受け、今回の協議までに内部協議を進めてきた。市役所内関係部署と協議を進め、次年度における当課の取り組みとして、IT人材の育成に重点を置くこととした。今回のアドバイザー派遣事業では、人材発掘および育成について、より具体的な取り組みについて協議することができた。研修の具体的な内容として、ユーザーが多いLINEアプリの便利な使い方（災害時等で便利なビデオ通話機能の紹介、一言に関係者にメッセージを送信する方法など）を、実際にアプリを使いながら利便性を感じながらアドバイザーからの助言を受けて、まずは小さなフェーズから取り組むこと、「自分」まで	
支援を受け改善又は解決された内容	ICTを活用できる人材の発掘・育成について、どのように本事業を進めていけばよいか悩んでいたが、アドバイザーからの助言を受けて、まずは小さなフェーズから取り組むこと、「自分」まで	

(具体的にご記入下さい)	が、アドバイザーからの助言を受け、より小さなステップから取り組むこと、「目力にしておく」という肯定感を持てる研修・セミナーを複数回開催していくことなど、事業の進め方がかなり明確になった。また、長期的な人材育成についても当課で検討していたがまだ不明確な部分が多かったが、アドバイザーからデジタルサポーター制度(仮称)について紹介があり、「地域で地域を育成する」ことで地域に根差した、持続可能な取り組みができるとお話しいただき、次年度にはより具体的な制度設計に取り組めると感じた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	講演・セミナーを行っていない	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	区・自治会内でのデジタル活用について理解が深まり、積極的に導入に取り組む人口が増え、地域運営の負担が軽減されることを目指す。今年このアドバイザー派遣事業を活用できたことにより、地域内におけるIT人材の育成の重要性を十分深められたことから、次年度も継続してアドバイザー制度	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



